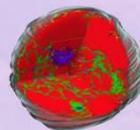


# 第16回「機能性バイオ」ミニシンポ 光合成微生物からブルーカーボンとSAFまで



日時：2026年3月16日（月）13：00～17：10

会場：東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト・多目的ホール（事前登録制）

開催形式：現地開催 及びオンライン（ウェビナー）のハイブリッド開催 参加費：無料

主催：光合成ものづくり支援コンソーシアム（機能性バイオ共創コンソーシアム協議会）

共催：産総研・生物資源と触媒技術に基づく食・葉・材創生コンソーシアム（食触コンソ）

後援：東京大学大学院 新領域創成科学研究科



## 【はじめに】（13：00～13：10）

ご挨拶 伊藤耕一（東京大学・院新領域・研究科長）

## 【基調講演】（13：10～14：10）

多様な環境に生息する藻類が秘める無限の可能性

—環境適応機構の基礎研究から、大学発ベンチャーによる実用化研究への展開—  
広瀬 侑（豊橋科学技術大・応用化学・生命工学系）

藻類株を収集する、保存する、分譲する、そして未来を切り拓く

—藻類カルチャーコレクションの日常と新しい挑戦—  
田辺雄彦（国立環境研究所・生物多様性領域）

## 【招待講演】（14：10～16：10）

藻類はネガティブエミッションに貢献できるのか？

—海藻養殖産業とブルーカーボンの両立を目指して—  
佐藤陽一（理研食品(株)・取締役・原料事業部）

鉄鋼会社における環境課題からのブルーカーボンへの展開

—鉄鋼副産物を活用した沿岸再生技術と事例紹介—  
小杉知佳（日本製鉄(株)・技術開発本部・先端技術研究所）

## ・コーヒータイトム [30 min]

ブルーカーボンを地域のエンパワメントに活かす

—公正なネイチャーポジティブ実現に向けて—  
福永真弓（東大院・新領域・社会文化環境）

## 【特別講演】（16：10～17：10）

水産資源増殖に欠かせない微細藻類

—水素化を用いない安価で効率的な触媒転換技術—  
嶋田五百里（信州大・繊維学部・化学・材料学科）

空をサステナブルに変える力

—持続可能な航空燃料SAFに関する国内外制度の動向—  
中村裕子、○鈴木真二（東大院・工学系・航空宇宙、東京大学名誉教授）

## 【おわりに】（17：10～17：20）

三谷啓志（東京大学・院新領域・光合成ものづくり支援コンソーシアム(APIC)会長）

## 【交流会】（17：40～19：00）2階ラウンジ（交流会は有料3,500円です）

光合成ものづくり支援コンソーシアム

<Algae Photosynthesis Innovation Consortium (APIC)>

<https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/kougouseiconso/>

※イベントページの申込フォームから参加登録してください。

<事務局> 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト503

光合成ものづくりコンソ事務局（河野重行、竹下 毅、狼 美保子）

<opera\_algae@edu.k.u-tokyo.ac.jp>



▲イベントページ▲